

子宮癌集団検診の細胞診成績について

伊藤 保¹⁾・杵淵 典子¹⁾・戸田 文男¹⁾
花垣 照夫¹⁾

はじめに

子宮癌は、その発生部位から他臓器の癌にくらべて治療しやすく、その治癒率も高く、早期発見・早期治療の意義の高いものである。この目的を達成する手段として、子宮癌の集団検診の果たす役割は大きく、その意義は今日広く認められている。

私達は、病理センターで行なわれた子宮癌集団検診の細胞診の成績をまとめ、他の施設のそれと比較検討したので報告する。

研究材料ならびに方法

材料は、昭和56年4月より昭和59年12月末日までの期間に、各医療機関より当病理センターへ子宮癌集団検診の細胞診を依頼された22,323例である。

検診方法は、検診車によるものと日母方式（指定された医療機関へ各人が受診する方法）によるものとであり、前者は中央病院と栃尾郷病院で、後者は三条病院、村上病院、頸南病院、中条病

院、上村病院、県立十日町病院、長岡市施設集検である。

細胞診はパパニコロー染色標本で下記の6段階に分類し、疑陽性（Ⅲa）以上は、要精検者として再検と試験切除をすすめた。

- クラスⅠ 陰性 正常である
- クラスⅡ 陰性 悪性の徴候なし
- クラスⅢa (写真1) 疑陽性 少し悪性を疑う
- クラスⅢb (写真2) 疑陽性 かなり悪性を疑う
- クラスⅣ (写真3) 陽性 極めて強く悪性を疑う
- クラスⅤ (写真4) 陽性 悪性である

なお標本はスクリーナーによってスクリーニングされ、クラスⅢa以上は病理医によって最終判定された。

成績

1 クラス別と要精検率（表1）

22,323例をクラス別によると表1の如く、CⅠ—12,272例（54.974%）、CⅡ—9,945例（44.55%）、CⅢa—82例（0.367%）、CⅢb—18例（0.08%）、CⅣ—5例（0.022%）、CⅤ—1例（0.004%）で、要精検例はⅢaの82例、Ⅲbの18例、Ⅳの5例とⅤの1例を合わせた106例で、要

表1 クラス分類と要精検率

年次	例数	細胞診						要精検数(%)
		I	II	IIIa	IIIb	IV	V	
56	3,270	2,197	1,055	12	4	2	0	18 (0.55)
57	5,845	3,199	2,610	27	8	0	1	36 (0.62)
58	6,552	3,527	3,002	18	4	1	0	23 (0.35)
59	6,656	3,349	3,278	25	2	2	0	29 (0.44)
計	22,323	12,272	9,945	82	18	5	1	106 (0.47)

¹⁾病理センター

精検率は0.47%であった。

2 精検受診率

要精検例 106 例中精検を行なったのは95例で、精検受診率は89.6%であった。なおその内訳は組織診59例、細胞診36例である。

3 要精検例の精検結果 (表2)

精検の結果、細胞診の36例はすべてCⅡ以下の陰性であったが、組織診を行なった59例の中から

表2 要精検例のクラス別精検成績

細胞診	組織診断						細胞診再検陰性	計
	浸潤癌 Ⅰb以上	浸潤癌 Ⅰa	上皮内癌	異型上皮	腔部ビラン	その他		
Ⅲa	2	6		8	17	5	34	72
Ⅲb	3	5	1	1	5		2	17
Ⅳ	3	1	1					5
Ⅴ	1							1
計	9	12	2	9	22	5	36	95

浸潤癌21例、上皮内癌2例、計23例の癌がみいだされた。この23例の最初の細胞診をみると、CⅤ1例(写真5, 6)、CⅣ5例(写真7, 8)、CⅢb9例、CⅢa8例で、CⅢb(写真9, 10)、CⅢa(写真11, 12)の症例がかなり含まれていることが注目された。

4 癌発見率 (表3)

癌症例は、初めの細胞診の段階では6例であったが、組織診による精検で17例(CⅢb9例とⅢa8例)の癌がみいだされ、合計23例であった。したがって癌発見率は、22,323例中23例、0.1%であ

表3 癌 発 見 率

年 次	受 診 者 数	癌 発 見 数 (%)
5 6	3, 270	4 (0.12)
5 7	5, 845	13 (0.22)
5 8	6, 552	4 (0.06)
5 9	6, 656	2 (0.03)
計	22, 323	23 (0.10)

った。この癌発見率は、年次別にみると表3の如く低下傾向を示していた。

5 初診者と再診者との癌発見率 (表4)

癌発見率の低下傾向は、一般的に受診者の固定化により再診者が増えてきたためと考えられてい

表4 初診者と再診者の癌発見率

年 次	受 診 者 数	癌 発 見 率	
		初診者群(%)	再診者群(%)
5 6	2,851	3 (0.10)	1 (0.03)
5 7	3,258	3 (0.09)	3 (0.09)
5 8	3,802	2 (0.05)	1 (0.02)
5 9	3,119	0	0
計	13,030	8 (0.06)	4 (0.03)

る。そこで、初診か再診かのわかっている13,030例について、癌発見率を調べてみた。その結果は表4のごとくで、初診者群の癌発見率は再診者群のそれにくらべてやや高率であった。

考 察

1 要精検率と精検受診率について

22,323例中CⅡa以上の要精検例は106例で、要精検率0.47%であった。これを他の施設のそれと比較すると、表5^{1,2,3,4,5)}のごとく、日本対ガン協会の全国統計よりはかなり低率であるが、新潟県内の2施設とはほぼ同様の成績であった。この要精検例106例中精検を受けたのは95例で、精検

表5 他施設の要精検率

年 次	日本対ガン協会 全 国 統 計	新 潟 県 保 健 衛 生 セ ン タ ー	上 越 医 師 会 館 検 査 セ ン タ ー
5 3	1.3	0.38	0.36
5 4	1.4	0.47	0.26
5 5	1.25	0.28	0.31
5 6	0.96	0.34	0.28
5 7	0.9	0.37	0.29
平均	1.16	0.368	0.30

受診率89.6%であった。これは日本対ガン協会全国統計の89.5¹⁾% (昭和58年)とほとんど同じであるとはいえ、100%が望ましい。その精検の内訳をみると、95例中試験切除材料で組織診行なったものが59例で、CⅢから癌がかなり発見されておるのに対し、残り36例は細胞診に止まり、癌は見出されなかった。このことは、精検では細胞診のみでなく組織診を行なうべきことを教えていると考えられた。

2 精検結果と癌発見率について

精検の結果23例の癌がみいだされたが、この中にはCⅢが17も含まれていたもので、これを再検討したところ、異型性が軽度でCⅣには出来なかった例は、CⅢaの4例とCⅢbの2例で、残り11例(CⅢa 4例、CⅢb 7例)はCⅣとすべきであったと反省させられた。

癌発見率0.1%は、表6の如く他施設と比較してほぼ同成績で、またこの癌発見率の年次別の低下傾向も全国的なものようである。この低下傾向の原因として受診者の固定化、即ち受診者に占める再診者の割合の増加、初診者の割合の減少が指摘されている。たしかに表4のごとく、再診者群よりも初診者群に癌発見率が高い。したがって今後癌発見率を高めるためには、受診者数、特に初診者数の増加が望まれる。

文

- 1) 日本対ガン協会による子宮がん集団検診の実施状況(1983), 日本対ガン協会.
- 2) 検診車による昭和54年度胃がん, 子宮がん集団検診年報, 新潟県がん集団検診協議会.
- 3) 検診車による昭和55年度胃がん, 子宮がん集団

表6 他施設の癌発見率

年次	日本対ガン協会 全国統計	新潟県保健 衛生センター	上越医師会館 検査センター
53	0.15	0.10	0.12
54	0.11	0.06	0.07
55	0.113	0.05	0.07
56	0.098	0.07	0.08
57	0.09	0.09	0.05
平均	0.11	0.07	0.078

なお癌23例中14例、60.8%は上皮内癌を含む比較的初期の癌で、早期発見の目的をある程度達したと考えられた。

おわりに

子宮癌集団検診22, 323例の細胞診と精検の成績を報告し、癌集団検診の目的をより完全に果たすためには、初診者受診率の拡大をはかると共に、精検率を100%までもってゆき、精検には組織診を行なうなどの努力の必要性を痛感した。

稿を終わるにあたり、ご指導を賜りました病理センター所長小島国次先生に深甚なる謝意を表します。

献

- 検診年報, 新潟県がん集団検診協議会.
- 4) 検診車による昭和56年度胃がん, 子宮がん集団検診年報, 新潟県がん集団検診協議会.
 - 5) 検診車による昭和57年度胃がん, 子宮がん集団検診年報, 新潟県がん集団検診協議会.

写真説明

- 写真1 クラスⅢa
 写真2 クラスⅢb
 写真3 クラスⅣ
 写真4 クラスⅤ
 写真5 クラスⅤ
 写真6 同上症例 扁平上皮癌(浸潤癌Ⅰb)

- 写真7 クラスⅣ
 写真8 同上症例 扁平上皮癌(浸潤癌Ⅰb)
 写真9 クラスⅢb
 写真10 同上症例 扁平上皮癌(浸潤癌Ⅰa)
 写真11 クラスⅢa
 写真12 同上症例 扁平上皮癌(浸潤癌Ⅰa)

写真 1

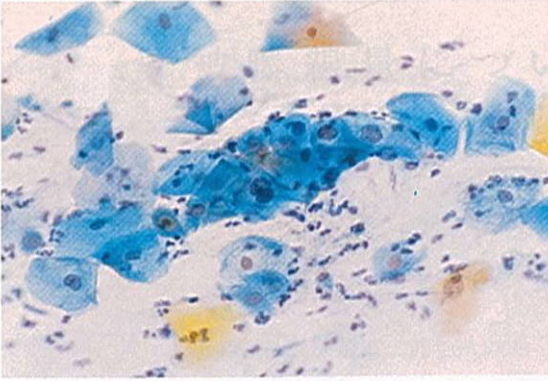


写真 2

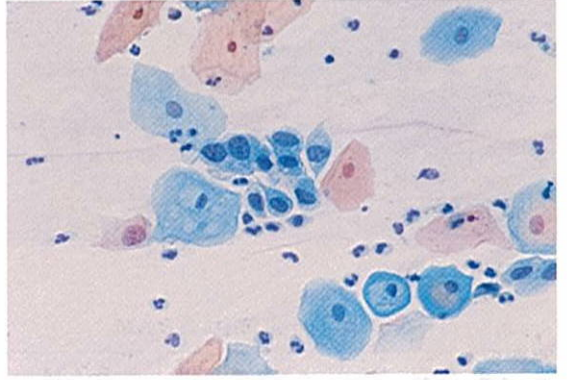


写真 3

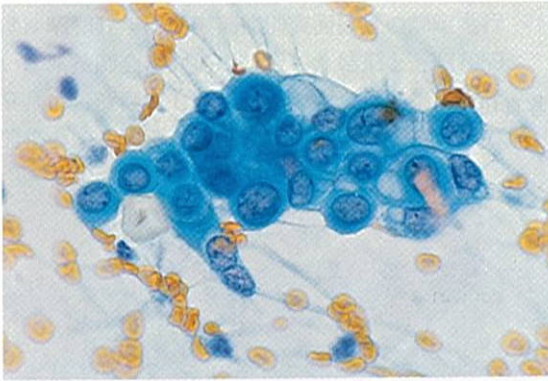


写真 4

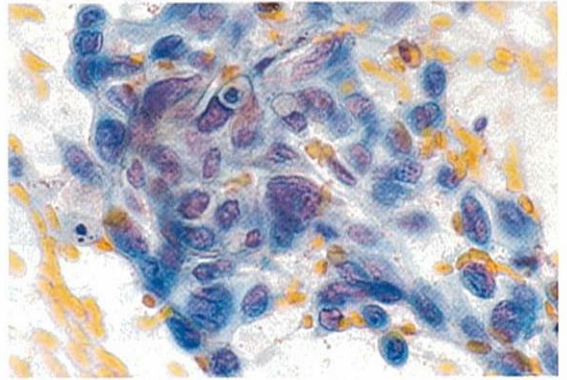


写真 5

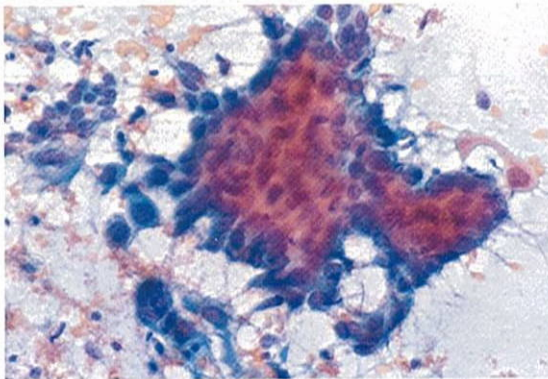


写真 6

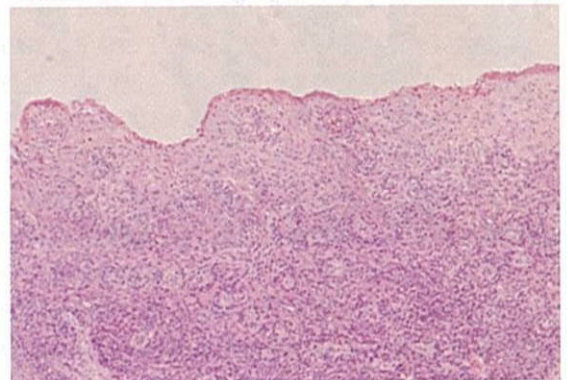


写真7

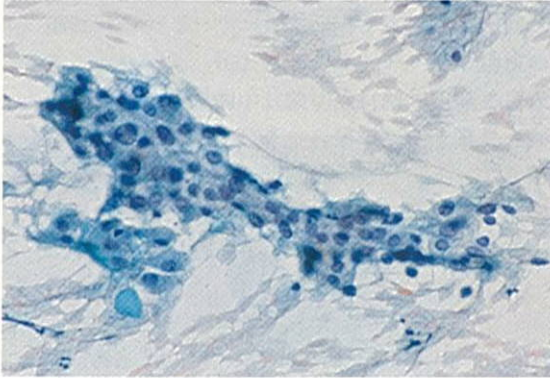


写真8

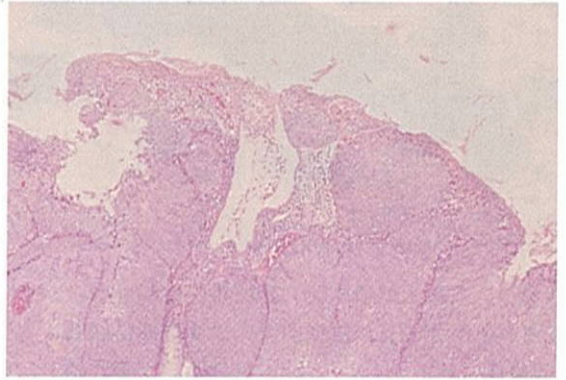


写真9

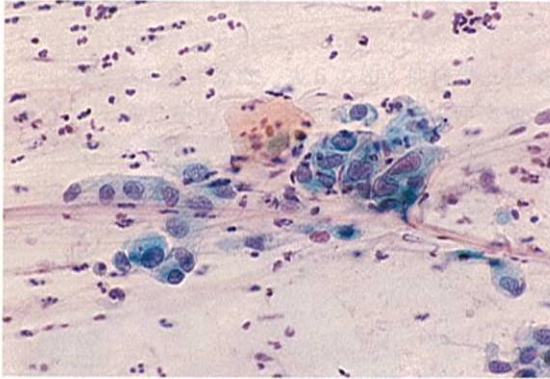


写真10

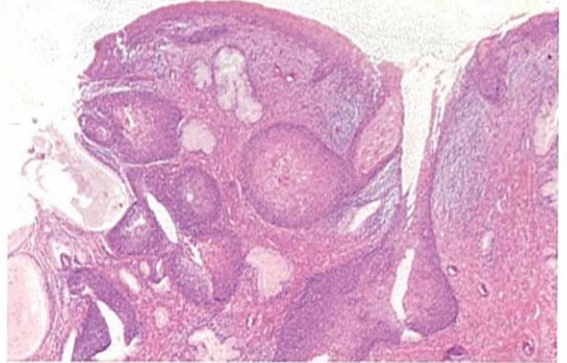


写真11

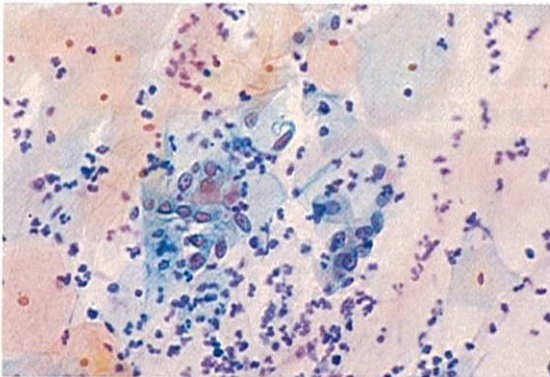


写真12

